

研究課題名「尾側膵切除に伴う脾静脈血栓リスク因子の抽出を目的とした観察研究」に関する情報公開

1. 研究の対象 2008年1月1日～2016年12月31日までに当院で尾側膵切除術を受けた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

脾静脈を含む門脈系における血栓症は、頻度は高くないものの、尾側膵切除に伴う合併症として重要である。尾側膵切除において、しばしば脾臓が合併切除されるが、脾喪失に伴う凝固能の更新とともに、脾静脈の切離に伴う血流停滞が門脈・脾静脈系の血栓発生に影響を及ぼすと考えられている。しかし、これまでに尾側膵切除に伴う無症候性脾静脈血栓症について、発生率も発症リスク因子についても明らかにはなっていない。本研究では過去に当科で施行された尾側膵切除の臨床病理学的データの解析に加え、CT・MRIなどの画像検査で脾静脈系の解剖および術後血栓発生との関係を解析することにより、無症候性を含む脾静脈血栓症の発生リスク因子を包括的に抽出することを目的としている。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

年齢、性別、病歴、膵疾患治療歴、手術日、手術前後の血液検査結果、手術前後の腹部CT画像・MRI画像等

試料：なし

4. お問い合わせ先本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学
TEL: 052-744-2245 FAX: 052-744-2252

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・助教・園原史訓

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科消化器外科学・教授・小寺泰弘